

# 事業承継の観点から見た連帯保証人制度の動き

——金融庁監督指針見直しに関する考察——

津島晃一（倫理研究所特任研究員）

## はじめに

中小企業の事業承継においては、連帯保証人がうまく引き継がれるかどうか問題となる。経営者にとっては、連帯保証が無限責任であるかの認識があり、それが一因となって事業承継を難しくしている。そのために、社長の権限移譲は停滞し、後継者は承継を逡巡する事業承継の遅れが生じている。平成 23 年 7 月、連帯保証に関する金融庁の監督指針が改正されたが、それが、事業承継にも影響を及ぼすと考えられる。本稿は、この改正が事業承継へ与える影響を検討し、中小企業の経営者が如何に連帯保証問題に対処すべきかを考察する。そして、議論をもとに、中小企業の経営者が、後継者を連帯保証人にするを育成目標とする提案を試みる。